

# 石津川水系河川整備計画（原案）概要版

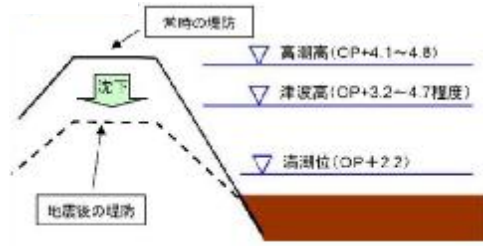
平成24年11月26日(月)  
平成24年度 第1回  
大阪府河川整備審議会

資料  
5-1

## 石津川の現状と課題

### 耐震対策

- 伊勢湾台風級の台風が大阪湾を室戸台風と同じ経路を通過して満潮時に来襲したことを想定した高潮に対応できる高潮堤防は完成
- 近い将来発生が懸念されている東南海・南海地震等への対策として平成20年度に実施した耐震機能照査結果に基づく耐震対策を実施



## 治水の現状と課題

- 石津川水系の二級河川では時間雨量50mm程度の降雨に対応した改修が概成
- しかし、時間雨量50mm程度を超える規模の降雨により床上浸水以上の大きな被害が発生する恐れがあるため、さらなる治水安全度の向上が必要



平成20年9月降雨による市街地の状況



平成16年5月降雨による百済川の状況

- 初期の改修から50年以上経過することから、護岸の老朽化が著しい箇所が多い
- 洗掘による河床低下が発生している区間が点在
- 部分的な補修ではなく、抜本的な対策が必要



鋼矢板の老朽化（開き・腐食）



石津川河口部の老朽化した護岸

## 水利用の現状と課題

- 石津川水系には多くの落差工や井堰があり、生物の上下流への移動の妨げ
- 都市の貴重な水辺空間として多様な動植物の生息・生育環境の保全を図るためには上下流域の連続性の確保が必要



## 水量と水質

- 石津川は環境基準を満たしていないが、和田川は環境基準を達成
- 石津川水系全体では、下水道整備の普及、工場・事業所の社会活動状況の変化、法規制等により改善傾向
- 石津川の和田川合流前の地点における流況は、平均濁水流量が0.47m³/s、平均低水流量が0.73m³/s
- 石津川水系全体では、水量が少ない

## 河川の特徴

- 石津川河口部は高潮堤防
- 石津川下流部は築堤、中上流部及び和田川、百済川は掘り込み河道
- 石津川水系全区間において単断面のブロック積み護岸
- 石津川の上流からの土砂供給が少なく、供給される土砂の細粒分が多いため、洪水により土砂が河口部まで流され、中下流部において河床低下が発生

## ため池の現状と課題

- 流域には350箇所のため池が点在
- ため池は降雨時における一時的な雨の貯留効果を有する
- 農地の減少に伴うため池の改廃が懸念
- 流域全体の保水・遊水機能を維持するため大阪府及び堺市の農政部局と連携したため池の保全・活用が必要
- 大阪府農政部局では地域と協働で、ため池の利水と環境を合わせて整備するオアシス構想推進事業を光明池、菰池（こもいけ）・下池、中ノ池で実施



流域内のため池（菰池）



オアシス構想推進事業にて整備された親水空間

## 堺市・地域等との連携

- 堺市では河川空間を利用した地域活動が活発
- 今後の石津川流域のあるべき姿について地域住民が主体となって意見交換を行う「石津川流域交流会議」を設立
- アドプト・リバー・プログラムの認定団体は10団体
- アドプト・リバー・陶器川では、清掃活動だけでなく、耕作の不法占拠の自主撤去や府民協働による川づくりを実施
- 陶器川流域の午池（うまいけ）を中心とした陶の里水系協議会による陶器川水系水辺自然回廊づくり
- 石津川中流部の泉北ニュータウンにおける地元ボランティアによる河川清掃
- 百済川における地元小学校、NPO、堺市等と連携したヨシ植えなどによる水質改善などの環境学習

No.	名称	河川名	団体名	協定締結日
1	アドプト・リバー・神石	二級河川 石津川	堺市立神石小学校	H15.3.10
2	アドプト・リバー・東上野芝	二級河川 百舌鳥川	コスモス	H15.12.3
3	アドプト・リバー・上野芝	二級河川 百済川	堺市立上野芝小学校	H18.5.11
4	アドプト・リバー・毛穴町	二級河川 石津川	毛穴町内会 川まつり実行委員会	H19.2.18
5	アドプト・リバー・陶器川	二級河川 陶器川	小阪西町自治会	H19.3.22
6	アドプト・リバー・鴨一北	二級河川 甲斐田川	鴨一北ソフトボールクラブ	H19.3.23
7	アドプト・リバー・鶴田町	二級河川 石津川	堺市鶴田町自治会 堺泉北ライオンズクラブ 市民ボランティアグループ「石津川に絆を」	H19.3.29
8	アドプト・リバー・八田西町2丁	二級河川 陶器川	八田西町校区八田西町2丁自治会	H20.10.22
9	アドプト・リバー・美木多(槍尾)	二級河川 和田川	堺市美木多校区自治連合会・槍尾自治会	H21.9.30
10	アドプト・リバー・山田1丁	二級河川 和田川	株式会社 鳥ノ江建設	H23.3.31



府民協働（川づくり）メイン会場の製作

## 河川空間・景観の現状と課題

- 石津川水系はコンクリートブロック護岸の単調な景観
- 石津川下流部は過去の改修等により河畔林が亡失し植生は貧弱
- 上流部は比較的豊かな植生
- 河川内にはゴミが見られ景観を悪化
- 石津川の河口部から中流部までの区間では、大阪府が実施するみどりの風促進区域に指定
- 河川を基軸とした地域ぐるみの緑化を堺市とともに推進

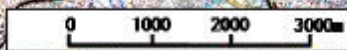
川に降りられずゴミが溜まる



みどりの風の促進イメージ

## 流域の概要

- 流域面積 78.0km²
- 二級指定区間延長 30.5km
- 石津川、妙見川、陶器川、和田川、甲斐田川、百済川、百舌鳥川からなる水系



流域には350箇所のため池が点在



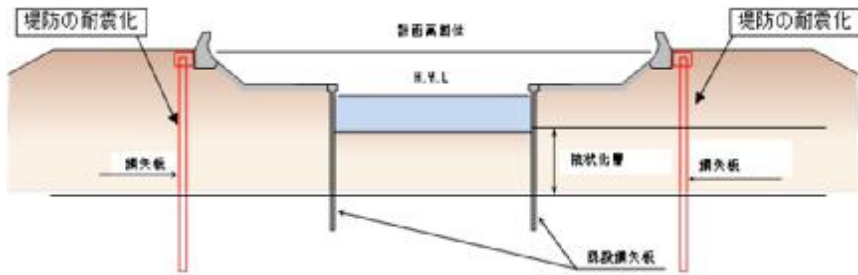
# 石津川水系河川整備計画（原案）概要版

## 石津川での今後の取り組み

### 耐震対策

#### 【堤防の耐震対策を実施】

- 河川部の護岸・堤防に対し、今後近い将来に発生が懸念されている東南海・南海地震等の海溝型地震を対象とした耐震補強を実施する。



河口～阪堺電気軌道阪堺線(0.0km～1.0km)横断面図

### 上下流の連続性の確保

- 農業用の井堰や落差工等の河川横断構造物は、利用実態の把握に努め、不要な堰の撤去や落差工の改善と合わせて水域の連続性の確保に努める。
- 整備にあたっては、堺市や地域ボランティア等と協力して、動植物の生息状況の確認や整備効果の予測・検証を実施する。



取組みイメージ（芥川）

### みどりの風の促進

- 堺市や地域住民と協同で、河川敷や河川沿いの道路、民有地等において樹木、草花、地被類等による植栽や、水辺に親しめる空間を整備する。



石津川河口部  
石津川を基軸とした緑化の取組み

### 水量と水質

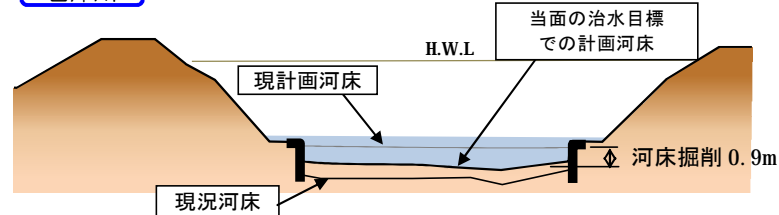
- 水量については、流況や取水実態等の把握に努め、利水と環境の面から河道に必要な流量を検討し、良好な水環境が図られるように努める。
- 水質については、環境基準の達成はもとより、多様な生物の生息・生育環境の保全、良好な景観の確保に向けて学校や地域住民等と連携し、さらなる水質改善に努める。

### 整備計画の目標

#### 【今後20～30年の当面の治水目標に向けた対策を実施】

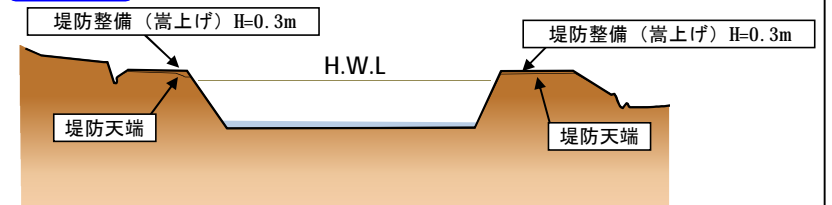
- 石津川・和田川は時間雨量65ミリ程度の降雨で河川氾濫による床上浸水以上の被害を防止する。
- 百舌川、百舌鳥川、甲斐田川、陶器川、妙見川については、現況において府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標を確保できている。

#### 石津川



宮本橋～平岡大橋(2.9km～3.9km)横断面図

#### 和田川



宮川橋～南川橋((2.1km～2.3km)及び鳩塚橋～赤坂橋(3.1km～4.0km)横断面図)

### 保全と合わせた整備

- 流下能力の向上に合わせて、老朽化対策や河床低下対策を行う必要がある区間については、河川特性を考慮し、適正な整備断面を検討のうえ実施する。

### 堺市と連携した洪水対策

- 流域全体での洪水リスクの軽減に向けて、準用河川を管理する堺市と洪水リスクの情報を共有し、ソフト・ハードの両面で連携する。

### ため池の保全と活用

- 大阪府農林部局、堺市及び関係団体等と連携し、流域内に多数点在するため池について、改廃等を防ぐ保全施策やため池管理者に対して大雨に備えるための水位低下を働きかけるなどの活用手法を検討する。



家原大池

### 堺市・地域等との連携

#### (地域活動の促進・支援)

- 石津川流域交流会議、アドプト・リバー・プログラム認定団体、河川の見守り隊等の自発的な地域活動を促進する。
- 地域活動による美化活動を支援するため、河川へ降りる階段を設置する。
- 環境学習の一環として学校等と連携したヨシ等の植生の保全、再生等により河川が持つ自然の浄化能力の向上を図る。

#### (洪水リスクの周知と避難体制づくり)

- 河川氾濫や浸水に対しては、堺市と連携し、住民が的確に避難行動をとれるよう、①現状の河川氾濫・浸水による危険性の周知、②必要な情報の提供及び伝達、③住民自らが行動できる体制づくりと避難訓練を実施する。



石津川流域交流会議の様子



清掃活動状況



洪水リスク図の開示状況



地上波デジタル放送を活用した河川情報の提供

